

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あうりんこ紫原		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・評価・分析を行い、発達段階に合わせたプログラムの作成及び、支援ができています。	・職員間で話し合いを設けており、課題の擦り合わせができています。 ・評価の手順や分析、支援方法の統一について共通認識がもてるようにしています。	・事業所内研修の実施 ・外部研修への参加 ・支援者会議の実施
2	・利用児のみではなく、保護者やきょうだいも含めて、安心して利用できる環境が整っている。	・振り返りの際に、困りや不安な点はないか確認するようにしている。 ・お子さまの課題について、共通認識をもち、成長している点にも触れ、喜びを共有している。	・相談の場の提供(きょうだい児も含む)
3	・関係機関と連携を図り、課題の共通認識や統一した支援ができています。	・支援者会議を行い、各機関の役割分担や目標について検討している。 ・長期休みを利用し、事業所への見学を受け入れている。	・支援者会議の継続 ・必要に応じて、保育所等訪問支援の検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母会や保護者会、研修会の案内が少ない。	・開所日に保護者会を開催できる職員の人員確保が難しい。	・ペアレントトレーニングや研修会の案内 ・父母会や保護者会の日程の確保方法を模索する。
2	・ホームページ等のSNSの活用ができていない。 (あうりんこ新聞を発行してしている。)	・あうりんこ新聞の発行を継続していく。ホームページについては、4つの事業所での取り組みとなる為、全体でのお知らせとなっている。	・あうりんこ新聞の内容は常に検討し、恒常化しないように今後も工夫していく。 ・活動中の見学の機会を設ける。
3	・地域の子どもたちとの関わる機会が少ない。	・郊外学習の計画を立て、買い物経験や公園利用の中で地域の人との関わりがもてるようにしているが、子ども同士の関わりはタイミング等が難しい。	・郊外学習の内容と回数の検討。公園で遊ぶ機会も検討し、地域の方との触れ合いの機会を検討していく。